

Title	太陽觀測
Author(s)	三澤, 勝衛
Citation	天界 = The heavens (1925), 5(56): 341-345
Issue Date	1925-08-25
URL	http://hdl.handle.net/2433/160285
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

太陽觀測 (1924年7月分)

三澤勝衛

(Observation of Sun-spots)

(by K. Misawa)

日	黒點群	黒點數	大黒點數	白紋	備	考
1	2	8+5=13	3+0=3	3	第1群は太陽の東端北緯37—8度附近にあり先月末の續き大規模なる白紋を伴ふ、第2群は太陽の東端北緯25°附近に濃厚なる白紋を伴ひ本日出現黒點を伴はざる白紋東側南の高緯度にとりたり	
2	—	—	—	—	雨	
3	—	—	—	—	雨	
4	2	6+8=14	2+0=2	0	第一群本日中央子午線通過	
5	2	5+15=20	2+1=3	0		
6	3	5+9+4=18	2+1+0=3	1	第2群は本日中央子午線通過 4小黒點よりなる群東側南緯30度附近に突發 單獨白紋東側の高緯度	
7	4	7+6+3+3=19	1+1+0+2=4	3	新黒點群白紋を伴ひ東端北緯20度附近に出現白紋1つは西第1黒點群の圍に1は單獨にて昨日の續きのもの	
8	5	1+2+1+3+1=8	0+1+0+2+0=3	3	第三群本日中央子午線通過 第五群は東側南の甚しく高緯度とあり昨日までの單獨白紋より發達せるもの	
9	5	1+2+1+12+1=17	0+1+0+2+0=3	3	白紋は西端第1群及東端第四第五群 圍にあり昨日までの第一群本日は西端に於て白紋のみとせる6日突發の黒點群中央子午線附近にて消失し本日見えず小黒點10ヶよりなる群子午線東方赤道附近に突發	
10	4	1+8+1+10=20	1+2+0+0=3	2	第1群は白紋を伴ひ西端にあり單獨白紋も亦西端	
11	4	1+4+9+13=27	1+0+3+2=6	2	昨日までの第一群本日は西端に没し白紋のみとせる10日突發の群甚しく發達し本日中央子午線通過第2群も本日中央子午線通過	
12	3	16+2+24=42	2+0+3=5	3	6日突發の黒點群本日は途中にて消失し見えず第1群本日は中央子午線通過白紋東端北の高緯度(觀測者河西慶彦君)	
13	2	24+21=45	4+2+=6	1	白紋は1は東端昨の續き1は西端南の高緯度(觀測者河西君)	
14	2	14+6=20	2+2=4	2	曇後雨	
15	2	12+3=15	1+2=3	0	白紋中2は何れも西端に近き黒點群の圍に1つは單獨にて西端にあり	
16	—	—	—	—	白紋中1つは黒點の圍に他の中2つは西端に1つは東端にあり昨日までの第1群本日は西端に没して白紋のみとせる	
17	2	3+1=4	2+1=3	3	白紋は西端黒點群の圍に(觀測者河西君)	
18	1	3	1	4	白紋東端昨日までの黒點群本日は西端に没して見えず	
19	1	1	1	1	黒點群中第一群は北の低緯度東端近く白紋を伴ひ昨日の白紋より發達せるもの第二群は中央子午線西方北緯37—8°附近に突發	
20	0	0	0	1	白紋は第一群の圍にあり	
21	2	1+1=2	0+0=0	1	缺觀測	
22	2	4+1=5	0+0=1	1	缺觀測	
23	—	—	—	—	缺觀測	
24	—	—	—	—	缺觀測	
25	1	9	1	0	黒點群中央子午線近く北緯37—8°附近に發見22日までの黒點群何れも途中にて消失し本日は見えず	
26	1	3	0	1	單獨白紋東端北緯20°附近にあり	
27	2	1+7=8	0+1	3	白紋を伴ひ1黒點よりなる黒點群昨日東端の白紋より發達する他の白紋2ヶの中1つは西端黒點群の圍に1は東部にあり	
28	2	6+8=14	0+1=1	3	白紋は1は西側黒點群の圍に1つは東端第二黒點の圍にあり單獨黒點東側にあり昨日の續き	
29	2	10+7=17	6+1=1	2	白紋は各黒點群の圍にあり	
30	1	7	1	2	白紋1つは西端昨日までの第一群の後身1は東端本日新に出現せるもの	
31	1	10	1	1	黒點群本日中央子午線通過、白紋は西端昨日の續き(觀測者河西君)	

(1924年8月)

日	黒 點 群	黒 點 數	大 黒 點 數	白 紋	備 考
1	3	14+4+1=19	1+0+1=2	2	{ 4小黒點より成る黒點群は白紋を伴ひ東端近く 甚だ高緯度 に突然出現 1大黒點は白紋を伴ひ東端北緯 15°—6° 邊 に出現(觀測者河西)
2	3	7+3+1=11	1+0+1=2	2	凡て昨日の續き(觀測者同上)
3	3	9+4+1=14	1+0+1=2	3	白紋は各黒點群の圍に(觀測者同上)
4	3	5+1+2=8	7+1+2=4	3	{ 白紋は各黒點群の圍にあり 1日突發の群本日は消失して 見えす 2大黒點より成る群東端北緯 15°—6° 邊に出現(觀 測者河西君)
5	3	4+1+4=9	1+1+2=4	3	昨日の續き(觀測者同上)
6	2	1+1=2	1+1=2	0	{ 昨日までの第一群本日は西端に没して見えす(觀測者同 上)
7	—	—	—	—	雨
8	2	7+1=8	1+1=2	0	第一群昨日中央子午線通過の筈(觀測者同上)
9	2	5+1=6	1+1=2	0	(觀測者同上)
10	3	1+1+2=4	1+0+0=1	2	{ 2小黒點よりなるもの本日西端近くの低度に突發 獨立白 紋は1は南方高緯度に1は東方の北の低緯度に
11	1	2	1	2	{ 昨日までの第二群中央子午線附近にて消失し本日は見え す昨日突發の第三群も消失單獨白紋1は高緯度1ツは西方 にあり
12	2	1+3=4	1+0=1	4	{ 3小黒點よりなる群白紋を伴ひ西端南緯 15°—6° 邊に突發 白紋1は西端第一黒點群の圍に單獨白紋2の中1ツは1は高 緯度1は西方
13	2	1+4=5	1+1=2	2	白紋は何れも黒點群の圍にあり
14	1	4	3	4	{ 昨日までの第一群本日は西端に没して見えす白紋 1ツは 西端黒點群の圍に單獨白 3個の中1ツは東側1ツは西側1 ツは北の高緯度にあり
15	1	1	1	0	昨日迄の黒點群西に没し新黒點群東端北 10° 邊に出現す
16	1	5	1	1	白紋は群の圍にあり
17	1	3	2	1	昨日の續き
18	1	2	2	0	
19	1	2	2	0	
20	1?	2?	2	0?	雲を透して觀測 爲に小黒點及白紋は不明
21	1	1	1	0	{ 黒點本日中央子午線通過(大黒點1個俄に消失せるは注意 すべし)
22	1	1	1	0	
23	1	1	1	2	單獨白紋は何れも東方に
24	1	4	1	1	21日消失せる黒點 3小黒點となり再現す單獨白紋は東方 に
25	1	1	1	2	對の小黒點消失 白紋1ツは群の圍に1ツは西方端に
26	1	1	1	2	凡て昨日の續き
27	1	1	1	1	白紋は黒點群の圍に
28	2	5+1=6	0+1=1	1	{ 昨日までの黒點は西方に没し2新黒點群中第1群は東側北 緯 10 度附近に突發第2群は東端南緯 10 度附近に出現
29	2	16+1=17	3+1=4	1	第一群俄に第展す白紋は第2群の圍に
30	2	16+1=17	4+1=5	0	
31	2	13+1=14	2+1=3	0	第一群本日中央子午線通過第一の大黒點甚だ大

三六

本月も一般に北半球の活動優勢なり、而て南半球に現はれたるものより壽命短く永續せず

(1924年9月分)

日	黒 點 群	黒 點 數	大 黒 點 數	白 紋	備 考
1	2	12+1=13	2+1=3	0	12個よりなる黒點群は昨日中央子午線通過のもの
2	2	36+1=37	5+1=6	0	観測者河西慶彦氏
3	2	24+1=25	4+1=5	0	第2の大黒點1個よりなる群本日中央子午線通過
4	2	12+1=13	7+1=8	1	白紋は對西方黒點群の圍にあり
5	—	—	—	—	雨
6	2	3+1=4	1+1=2	2	白紋1は西端黒點群の圍に1は東方にあり大規模
7	2	1+4=5	1+0=1	0	{8月末日中央子午線通過のもの本日西端に没し4小黑點よりなる1群西方南の高緯度に突發
8	2	1+3=4	1+0=1	1	白紋は西端黒點群の圍にあり但し小規模
9	2	1+2=3	1+0=1	2	{白紋何れも西1は7日突發のもの、圍に1は單獨に但し西端大黒點の圍にはなし
10	1	3	0	2	{3小黑點よりなる1群本日東側に突發 白紋は何れも西端1は昨日迄の黒點群の後身1は昨日の續き3日中央子午線通過のもの本日は西端に没す
11	1	10	2	2	白紋は西方小黑點群の後身 1は東方南の高緯度
12	—	—	—	—	雨
13	1	15	3	2	白紋1は東方 1は西方
14	—	—	—	—	曇10日突發の黒點群本日中央子午線通過の筈
15	—	—	—	—	雨
16	1	7	1	1	白紋は東方濃厚
17	1	8	1	1	白紋は東方昨日の續き
18	1	3	1	1	白紋は東方
19	2	1+4=5	1+0=1	2	{4小黑點よりなる1群本日東方に發生す昨日の白紋より變化せるもの白紋の1は西端黒點群の圍にあり
20	1	2	2	1	{14日中央子午線通過のもの本日は西端に没し白紋のみさなる
21	—	—	—	—	雨
22	1	9	2	1	白紋は東方低緯度にあり大規模
23	—	—	—	—	曇19日發生の黒點群本日中央子午線通過の筈
24	2	26+1=27	0+1=1	0	1大黒點本日東方低緯度に出現
25	3	14+1+2=17	0+1+0=1	1	{2小黑點よりなる群本日西方北の緯度に 突發白紋は東方黒點群の附近にあり
26	2	3+1=4	0+1=1	0	昨日突發の黒點群本日消失
27	—	—	—	—	曇
28	5	3+2+1+2 +2=10	1+0+0+0 +1=2	1	{大黒點を有する群東方低緯度に出現 外に3黒點群中央子午線附近及西方北の中緯度にそれぞれ突發23日中央子午線通過のもの白紋のみさなる
29	3	5+1+1=7	2+0+1=3	2	{昨日 突發の中2黒點群は本日消失 白紋1は東方 1は西方何れも黒點群の圍にあり
30	3	7+1+1=9	1+0+1=2	2	白紋は昨日の續き

三七

太陽面の活動中々優盛なり但し本月も尙短命なる黒點群出現す

(1924年10月分)

日	黒 点 群	黒 点 数	大黒点数	白 紋	備 考
1	—	—	—	—	曇
2	4	$10+4+1+2=17$	$0+1+0+1=2$	2	白紋に圍まれたる黒點群1は東端1は西端近くに發見
3	4	$8+4+1+2=15$	$0+1+0+1=2$	2	何れも昨日の續き
4	—	—	—	—	曇後雨
5	—	—	—	—	雨
6	—	—	—	—	雨
7	—	—	—	—	曇後雨
8	—	—	—	—	雨
9	3	$1+3+24=28$	$1+0+2=3$	1	1大黒點群南の高緯度に發見本日中央子午線通過
10	2	$1+10=11$	$1+2=3$	1	昨日第2群のもの兩側に於て本日消失
11	1	12	2	1	昨日第1群のもの本日は西端に没しなし、白紋は東端
12	1	11	1	1	白紋は西方黒點群の圍にあり(觀測者河西君)
13	1	6	2	2	白紋何れも西方1は黒點群の圍に(觀測者同上)
14	2	$1+4=5$	$1+1=2$	2	新黒點群白紋に圍まれ東端北の中緯度に出現
15	2	$2+5=7$	$1+3=4$	2	白紋は東西黒點群の圍にあり
16	—	—	—	—	雨
17	1	19	2	1	{白紋は黒點群の圍にあり 9日中央子午線附近に發見のもの本日は西端に没す
18	1	8	1	1	凡て昨日の續き
19	—	—	—	—	雨
20	—	—	—	—	曇
21	—	—	—	—	雨
22	—	—	—	—	曇
23	1?	1?	1	?	雲の爲め觀測不充分
24	3	$5+1+1=7$	$1+0+0=1$	2	{1小黒點群第1群のやゝ後方に發見白紋に圍まれたる1小黒點群東端北の中緯度に發見白紋の1は西端黒點群の圍にあり
25	2	$2+2=4$	$1+0=1$	4	{新黒點群太陽の東側に出現白紋2つは東2はつ西その中1つは黒點群の圍にあり昨日發見の東端の黒點群本日は白紋のみとなる
26	3	$1+8+1=10$	$1+2+1=4$	3	{新黒點群白紋に圍まれ東端北の緯度に出現白紋中他の2は西端にてその中1つは黒點群の圍にあり
27	2	$15+1=16$	$2+1=3$	2	{14日出現の新黒點群本日は西端に没し白紋のみなる白紋1つは東端黒點群の圍にあり第1群本日中央子午線通過
28	—	—	—	—	雨
29	2	$6+1=7$	$2+1=3$	1	白紋は西端
30	2	$6+1=7$	$1+1=2$	1	白紋は西端
31	—	—	—	—	曇

三八

太陽の活動先月と大差なけれども黒點出現點の北半部に偏したるは注意すべし

(1924年11月分)

日	黒 點 群	黒 點 數	大 黒 點 數	白 紋	備 考
1	—	—	—	—	曇後雨
2	1	1	0	2	{白紋1つは西端黒點群の圍に1は東方にあり先月末の第2黒點群中途にて消失し本日は見えず
3	0	0	0	3	{白紋1は西端にあり昨日迄の黒點群の後身他の2は東方にあり中1は北の高緯度1は南の中緯度にあり
4	0	0	0	3	白紋1は西方2は東方にあり
5	0	0	0	0	
6	0	0	0	1	白紋西方にあり
7	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	
9	0	0	0	0	
10	—	—	—	—	雪
11	0	0	0	0	
12	0	0	0	3	白紋1は東2は西に
13	0	0	0	3	白紋は昨日の續き
14	1	5	1	1	黒點群本日午線子のやゝ東方に突發、白紋西方昨日の續き
15	2	6+1=7	0+1=1	1	新黒點群白紋を伴ひ東端に出現
16	2	18+2=20	0+2=2	1	{白紋は東方第二黒點群の圍にあり 14日突發のもの本日中央子午線通過 (觀測者河西君)}
17	2	16+13=29	1+2=3	1	白紋に第二黒點群の圍に
18	4	14+6+1+1=22	0+2+0+1=3	2	{2新黒點中1つは中央子午線附近北の緯度に突發1は白紋に目する東端に出現
19	3	9+12+5=26	0+2+1=3	2	{昨日突發の小黒點群本日消失、白紋1は東方1は西方各黒點群の附近にあり
20	—	—	—	—	曇り
21	2	6+4=10	2+1=3	2	16日中央子午線通過のもの本日は西端に於て白紋のみとなる。初の群本日中央子午線通過、白紋の他の1は東端の南高緯度に、大黒點何れも甚大
22	3	13+6+1=20	2+1+0=3	2	{新黒點東端近く南高緯度に突發、昨日までの白紋より變化せるもの、白紋1は西端昨日の續き
23	2	26+7=33	2+1=3	0	昨日突發のもの本日消失。(觀測者河君)
24	2	33+11=44	2+2=4	0	第2群本日中央子午線通過
25	2	24+8=32	4+1=5	0	
26	2	11+9=20	3+1=4	1	白紋は西方の黒點群の圍にあり
27	2	19+8=27	4+1=5	1	昨の續き
28	2	4+3=7	4+1=5	2	白紋は各黒點群の圍にあり
29	1	7	1	1	昨日までの第1群本日は西端に没す
30	—	—	—	—	曇後雨

太陽本月は後半に於て甚だしく活動し殊に大黒點及白紋は近時稀に見る大規模なるものなりき